

思い出の日々を誇りに、二十歳の誓いを胸に ～平成27年東通村成人式～

1月12日の成人の日、当村で成人を迎えた60名(男33名、女27名)のうち36名が出席し、東通中学校体育館において平成27年東通村成人式が開催されました。

今年の新成人は東通中学校の第2期生にあたり、小中一貫教育がスタートした学年でした。懐かしい学び舎の教室や廊下、体育館を晴れ着姿で巡りながら、同級生との久しぶりの再会に笑顔がこぼれていました。

式では越善靖夫村長が式辞を述べ、「これからは社会の一員として、自らの判断で行動することが今まで以上に求められます。自分の行動には必ずそれに応じた責任が伴うことを自覚していただき、揺るぎない信念と決意で未来を切り拓いていただ

きたい」とメッセージを送りました。また、来賓を代表して小笠原清春村議会議長から祝辞があり、新成人の皆さんは真剣な眼差しで耳を傾けていました。その後、新成人を代表して竹林花依さんへ記念品が贈呈され、式の最後には、相内京介さんが誓いの言葉を述べました。相内さんは、統合した東通中学校で新たな伝統と校風を築くため、学年を超えて様々な取り組みを行ったことに触れながら、「このことがその後の私たちの大きな支えとなっています。後輩たちが輝かしい歴史を積み重ねている様子を目の当たりにし、私達ももっと成長しなくてはならないと気持ちを新たにしました。東通中学校で過ごした日々を誇りに、後に続く後輩た

ちの見本となるような社会人を目指していきます」と力強い声で誓いました。

その後、こども園ひがしどおりを会場に記念行事が行われ、新成人の皆さんは5歳児による迫力の器楽合奏に感動し、大きな拍手を送っていました。また、演奏後には園児からお祝いの言葉が贈られました。

新たな一歩を踏み出した新成人の皆さんが、それぞれの夢を実現し、立派な社会人として更にご活躍されるよう期待いたします。



メッセージを送る越善村長



誓いの言葉を述べる相内さん



真剣な眼差しで式に臨んでいました



恩師や同級生との再会に笑顔が絶えない成人式でした